

一般質問

個人質問



小川 一馬 議員

● 圏央道から市内へのアクセス向上などインフラ整備について

Q 東金、松尾間が平成10年3月に開通し、市内には2力所のインターチェンジがあり、開通以来、15年が経過した。また、人口も合併以来4千人以上が減少、税収も減少している中で、『後期基本計画』では、幹線道路が整備されることで、安全性・利便性が確保される」とあるが、現在のアクセス道路の状況はどうか。

A 市長 旧成東町時代の都市計画の道路に認定されてから、旧成東

町の区域では、工事は一切行われておらず、平成8年度に事業中止になりました。交通量の面から近年、以前より渋滞も少なくなってきたこと

もあり、県としては整備の順番が少し後になってきていると考えています。

Q 市全体に及ぼす影響は非常に大きなものがあると思われるが、整備の遅れをどのように考えているか。

A 市長 都市計画道路としては、優先順位の中で行うものであり、市が強い要望をしたことが、全て通るということではありません。

これからも要望していく中で、山武市全体の交通網の整備を進めていかなければならないと考えています。

Q 千葉から松尾横芝インターの間に、8

つインターチェンジがある中で、本市のような道路状況のところは、ほかにはないと思う。インターからのアクセス道路の整備について、市または市長として、何回要望を上げてきているのか。

A 市長 山武土木事務所と担当レベルでさまざまに意見交換をするところから話を進めており、その中で要望も伝えています。要望書という形式をとっていなくとも、県に全く働きかけをしていないわけではありません。

Q 山武市の人口・税収の減少の理由、要因はいろいろあると思う。東京オリンピックが決定し、圏央道の全線開通に向けて、また、東金、松

尾横芝間が4車線化し、圏央道の一翼を担おうとしている現在、インターから市内へのアクセスの安全性、利便性を高めるべきと思うが、現在の道路状況は、それに逆行している形ではないか。

A 市長 市の交通状況の改善を図っていくことについては、これからもしっかりと取り組んでいかなければならないと思っています。

Q 計画道路としての事業について、既に年月が経過している。いつになったら、実現するのか。

A 市長 県がこの事業を採択して、3・4・5号線をもう一度事業化したとしても、大変長い期間を要すると思います。

Q 飯岡一宮線バイパス、木戸川橋梁について、今どういう状況なのか。

A 市長 この道路につきましては、現在、何度か県と話し合っただけで、いつごろまでに行けるだろうという見直しを持って

るような回答はないという状況です。

Q 市長2期8年、町長3期やられた中で、飯岡一宮線バイパスの道路用地として確保した面積は、どのくらいあるのか。

A 市長 自身が確保したという道路面積はございません。蓮沼地区は道路整備が進んでおり、歴

然と結果が出ている。木戸浜の一部だけが、なぜ取り残されているのか。川向こうには川岸まで道路が来ている。これを生かさないと手はないのではないかと思う。

3.11の津波被害のとき、木戸川堤防が決壊し、木戸浜、小松浜は甚大な被害を被った。人災だという市民の声があつたことは、市長の耳には届い



護岸工事が進む木戸川